



平成28年8月3日 第10号
豊高はあなたの未来づくりをサポートします。

健康講演会

救急法グループワーク

7月14日(木)4校時、健康講演会が行われました。講師に現役の麻薬取締官の方をお迎えし、現在の薬物乱用の実態や薬物の危険性等について話をさせていただきました。現場の声を聞くことで、薬物の恐ろしさを再認識することができました。

また、15日(金)の放課後には、一・二年生の保健委員や各部活動の代表者を対象に、救急法グループワークが行われました。豊岡市消防本部の救急救命士の方々にご指導いただきながら熱中症等の応急処置やAEDの使い方などを学びました。いざという時に自分はどう判断し、行動すべきかを考える良い機会になりました。



救急法GWの様子

SSH 兵庫「咲いてく」プログラム サイエンスカンファレンス

7月16日(土)、神戸大学統合研究拠点コンベンションホールにて、サイエンスカンファレンスが開催されました。この催しは、兵庫県内のSSH指定校8校が集まり、日頃行っている研究の成果を

英語で発表するというものです。本校からは6月に行われた課題研究Ⅲ発表会で選ばれた理科の4名が参加しました。質疑応答など英語でのやりとりも活発に行われ、とても有意義な時間となりました。



医師・看護師・リハビリテーションセミナー

リハビリテーションセミナー

二年生、または全学年の生徒を対象に、医学部・看護学部・リハビリテーションなどの進路を考える生徒に向けて、今年も公立豊岡病院から講師の先生をお招きし、医師・看護師・リハビリテーションセミナーを開催しました。

このセミナーは、地域の医療への取り組みを知ることにより、医療についての基礎知識を得ること。また、近くにある総合病院である豊岡病院の方の生の話を聞くことで、進路実現への意欲を高めることを目的として、毎年開かれています。今年も、全学年の生徒を対象とした医師セミナー、3年生の生徒を対象とした看護師セミナーに加え、新たに全学年の生徒を対象にリハビリテーションセミナーも開催しました。各セミナーでは、本校のOB・OGである講師の先生にも来ていただき、ご自身の経験を踏まえた、分かりやすいお話を伺うことが出来、和やかな雰囲気の中で生徒も興味深く話を聞くことが出来ました。



★生徒の感想より(一部抜粋)

- 現役でバリバリ働いておられる看護師さんの生の声は全然違いました。親近感も湧き、ためになる話ばかりで、セミナーを受けてよかったなと思いました。
- 看護師になるためにはコミュニケーションが大事と教えていただき、私は、人とかかわることが大好きなので、長所を活かせそうだなと思い、うれしかったです。
- 医師は完璧な人間がなる職業だと思っていたけれど、自分の非を素直に認められる人間的な魅力も必要だとわかりました。
- 実際に医師として働いている方の生の声を聴くことが出来、リアルにイメージをすることが出来るようになり、とても充実した時間でした。
- 理学療法士の方の話を聞き、女性のような小さな体でもリハビリの仕事を行うことが出来ると聞いたことが、心に残りました。
- 理学療法士は、最新の機械を使ったり患者さんに合わせたメニューを作ったり、やりがいのある仕事だと思いました。

ALTリサ先生離任式

7月20日(水)、三年間お世話になったALTリサ先生の離任式が行われました。リサ先生からの挨拶では、授業や部活動での思い出や、三年間を振り返って感じたことなどを日本語で伝えられました。また最後に、ピアノを使った弾き語りを披露され、感謝の気持ちを表現されました。

リサ先生には、英語の授業をはじめ、毎週木曜日に行われる全校リスニングなど、多くの場面でお世話になりました。本当にありがとうございました。本当にありがとうございました。

豊岡市ワークショップ

7月21日(木)に豊岡市内の高校の代表が集まり、市の将来を語るワークショップを行いました。自分たちが住んでいる街の自然や教育、産業などをテーマとし、自分が市長になったつもりで豊岡市の未来について考えました。どうしたら若者が豊岡に帰ってくるか、豊岡をさらに盛り上げるにはどのような政策が必要かなど、いろいろな意見を述べ合いました。豊岡をよりよい街にしたという思いを他校の生徒と分かち合えた良い機会となりました。

